

会 議 録

全部記録要点記録

1 会議名	令和5年度第1回姫路市地域ケア推進協議会
2 開催日時	令和5年7月31日（月曜日） 13時30分～15時05分
3 開催場所	姫路市総合福祉会館5階 第1会議室
4 出席者又は欠席者名	地域ケア推進協議会委員10名 (事務局) 地域包括支援課、介護保険課、高齢者支援課
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可：傍聴0名
6 議題又は案件及び結論等	(1) 地域密着型サービス等運営委員会 ①地域密着型サービス事業所の整備状況に関する報告 (2) 地域包括支援センター運営協議会 ①地域包括支援センターの運営に関する報告 ②指定介護予防支援事業所の運営に関する報告
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

<p>事務局 (地域包括支援課)</p> <p>長寿社会支援部長</p>	<p><u>1. 開会</u></p> <p>第1回姫路市地域ケア推進協議会を開会する。</p> <p><u>2. 挨拶</u></p> <p>皆様には日頃から姫路市の介護福祉行政の推進や、医療と介護の連携、地域での困りごと等相談に対応いただき、ありがとうございます。地域ケア推進協議会は、介護保険法及び介護保険法施行規則に基づき設置されており、地域包括支援センター運営協議会と地域密着型サービス等運営委員会の2つの機能を有している。地域包括支援センター及び地域密着型サービス等事業者の適切かつ公正な事業運営の確保について協議し意見をいただいていた。</p> <p>今年度は5か所の地域包括支援センターが新しい法人へと引き継がれておりまた、姫路市介護保険事業計画も見直している。高齢者の人口増加に伴い、地域包括支援センターや地域密着型サービス等事業者の役割や需要が高まっている。</p> <p>高齢者の方が住み慣れた姫路で、生きがいを感じながら、健やかに暮らしていけるようにという目標を明確にし介護保険事業計画や地域包括ケアシステムの進化や達成に向け努力していきたい。</p>
<p>事務局 (地域包括支援課)</p> <p>会長</p>	<p>(委員紹介)</p> <p>議事進行について会長へお渡ししたい。</p> <p>事務局担当が大きく変わっているため紹介をお願いしたい。 (事務局自己紹介)</p> <p><u>3. 協議</u></p> <p>(1) 地域密着型サービス等運営委員会</p> <p>①地域密着型サービス事業所の整備状況に関する報告</p> <p>事務局より報告をお願いしたい。</p>
<p>事務局 (高齢者支援課)</p>	<p>【資料1】「地域密着型サービス事業所の整備状況に関する報告」に</p>

<p>会長</p>	<p>基づいて説明。</p> <p>(質疑応答)</p> <p>社会事情等により公募での応募が少ないというところと考える。 現状以外にも困っていること、以前には職員の不在などで開設が遅れるなどもあったが今後は、介護職員の確保なども含め弾力的に考えていくもので、次への課題として考える必要がある。</p>
<p>A委員</p>	<p>整備状況について、地域による偏りがあるのか、どの程度あったらよいと考えているか。</p>
<p>事務局 (高齢者支援課)</p>	<p>看護小規模多機能や定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所は新しい制度となり、数として少ないというところはその通りである。 在宅を支える、医療を支えるという観点から各圏域に1か所を目指している。現在ない圏域にも整備できるようにしていきたいが、公募をしても手が上がらないのが現状であり、今後の課題と考えている。来年度整備にかかる説明会を7月に実施しているので多くの参加を期待している。できるだけない圏域を優先したいと考えている。 看護小規模多機能型居宅介護事業所に関しては、現在7か所あり、小規模多機能型居宅介護事業所からの看護師の配置換えなどで転換できるようにしている。</p>
<p>会長</p>	<p>何か隠れている課題があるのか、地域性にあるのか、人的なものがあるのか、確認、検討し整備を進めてほしい。</p> <p>(2) 地域包括支援センター運営協議会</p> <p>①地域包括支援センターの運営に関する報告</p> <p>事務局より報告をお願いしたい。</p>
<p>事務局 (地域包括支援課)</p>	<p>【資料3】「地域包括支援センターの運営に関する報告」に基づき説明。</p>

	<p>【別紙1】「令和5年度地域包括支援センター事業計画」を参照 【別紙2】「令和4年度地域包括支援センター事業評価」を参照</p> <p>(引き続き担当者より説明)</p> <p>【別紙3】</p> <p>報告事項①地域包括支援センター運營業務委託にかかる見直し項目 報告事項②令和4年度姫路市地域包括支援センター決算状況 報告事項③各センターにおける職員配置状況、プラン件数超過状況 について説明</p>
<p>会長</p>	<p>これまで、何を何回したという事業評価が多く、事業の中身や、事業を展開しどう変化したのか把握しにくかった。昨年からは介護保険事業計画の目標に基づいた様式に変更になってから初めて前年度との比較ができるようになっている。</p> <p>本協議会としてもこの点について把握するため、昨年度に協議しており、その結果が今回の報告に繋がっている。あくまでも自己評価に基づくものであるが努力の形がみえてきているのではないかと。</p>
<p>B委員</p>	<p>(質疑応答)</p> <p>決算報告についてであるが、18法人中4か所の収支が赤字となっている。市として傾向や要因、原因分析などを行っているのか。</p> <p>また、人件費のしめる割合が多い。会計基準などの作成ルールなどはどうなっているのか。</p>
<p>会長</p>	<p>新規参入を除いた18か所の決算報告となっている。</p> <p>資料の意図について少し詳しくお聞きしたい。</p>
<p>事務局 (地域包括支援課)</p>	<p>収支を出しているのでも、赤字に見えてしまうところがある。原因の分析として、委託料が減っているのか、人件費が増えているのかなどの分析はしている。姫路市としても十分に活動できるだけの委託料をきちんと把握した上で、委託料の設定をしている。またケアプランの収入がどの程度かも参考に委託料を算出している。</p>

B委員	収支決算の内容などについて市から何か指導などはあるのか
事務局 (地域包括支援課)	特にしていない
C委員	包括によっては赤字となっているが、これで経営ができるのか。黒字で多く報告しているところ、赤字で報告しているところがあり、きちり適正に運営されているのか、実態はどうなのか、しっかり見ていく必要がある。市民が安心して活用できるような制度でないといけない。自分が住んでいる地域の包括が赤字であれば当然心配となる。
A委員	県内の三木市や加東市などは市役所内に地域包括支援センターが設置されているところは収支の点は全く考えず仕事できる。 神戸市や姫路市など100%委託している市もあり地域で全く違う。このデータをどう考えるかだと思う。
A委員	ケアプランをたくさん立てていると職員に関しての委託料が増額されるなど収入が多くなり、評価されてしまう。 本来の基本的な地域の困りごとなどに対応するところが評価されにくいのではないかと。難しい問題と思う。
事務局 (地域包括支援課)	地域包括支援センターには計画に基づいた包括的支援事業という地域づくりや介護保険を使ってない高齢者も含めての相談窓口機能が一つある。もう一つは介護予防のプランを作るという二枚看板で、地域包括支援センターという業務が成り立っている。その中で、当市の委託料以外に収入を得ようとする、ケアプランを立てるケアマネジメントの作成費になる。そのためには基本職種が必要となり、自前でプランナーを配置すれば人件費は出ていく形となる。プランを多く作成したからと言って地域を見守るという基本は変わらない。 介護予防支援業務については来年度、直接ケアマネジャーと居宅介護支援事業所が契約できるよう法改正の予定があり業務の形が変わると考えられる。

<p>会長</p>	<p>運営に関する報告をまとめると、一つは市の方向性に基づいた計画・目標についての整合性、二つ目は決算について課題はあるが実態の報告、三つ目は職員とプランについての報告をしてもらった。</p> <p>今後、市の方向性や課題、本質的な問題などはどこで議論していくのか、政策部局で議論されるのか、市民の意見はどう反映されるかといったところも検討をお願いしたい。</p>
<p>D委員</p>	<p>昨年も意見を述べたが、収支の報告をするときに何をどう記載すればよいのか大変悩むことが多い。フォーマットの尺度が違っているため各センターによって計上の仕方が異なっている。毎年同様の質問が出るということは、精査されていないのではないかと思う。</p> <p>地域包括支援センターごとに収入や支出の内訳にバラつきがあるのは、支出をどの項目にするのかの指導がなく、法人に委ねられていることも要因である。</p> <p>プランの作成に関しても、法人独自でプランナーを募集し配置、一生懸命実施しているところがこの表から見えない。</p>
<p>事務局 (地域包括支援課)</p>	<p>委員の指摘のとおり記載のルールがなく、センターによってとらえ方の違いがある。地域の事情により交通費など変わってくる部分もあり必ず統一されるわけではないが、今後、ある程度統一した見解を示す方向で検討しお示ししたい。</p>
<p>会長</p>	<p>地域包括支援センターとして手を挙げ、市から委託を受けて地域で定着し活動している。市としての方向性や課題を少しずつ改善することを期待したい。</p> <p>②指定介護予防支援事業所の運営に関する報告</p> <p>事務局より報告をお願いしたい。</p>

事務局 (地域包括支援課)	<p>【資料3】「指定介護予防支援事業所の運営に関する報告」を説明</p> <p>(質疑応答)</p>
A委員	<p>円グラフでは介護に移行したものが約60%となっている、卒業していかなくなってしまったのか、他の市町はどうか</p>
事務局 (地域包括支援課)	<p>しっかりとした調査研究はないが、各種の報告を見ていくと悪い数字ではない、平均値というような状況。</p>
A委員	<p>先ほど地域包括支援センターの事業評価の報告があったが、卒業がたくさん出るのが一番の評価ではないかと考える。</p>
事務局 (地域包括支援課)	<p>地域でどんな人が要支援かと言っても幅広く、いわゆるフレイルの人もいれば難病など固定し回復が難しい場合もあり、評価することは非常に難しいのが現状である。</p>
E委員	<p>ガイドラインの利用について100%のところもあるが0%のところもあるが市としては100%をめざしているのか</p>
事務局 (地域包括支援課)	<p>ガイドラインを使った結果というのは、まだ実績として積み上がっていない。ガイドラインを使った結果、自立や卒業に向かう割合が高いということ、結果として示せるようにしたい。</p>
D委員	<p>介護保険の申請についても地域により躊躇するなど近隣との関係性も影響する。申請が滞ると虐待や事故、困りごとにつながってしまう。地域の人口比率と悪化など傾向、申請の状況を分析し数値化され、図表になればわかりやすいし、申請する人もいるのではないかと感じる。</p>
会長	<p>図表については、一般的には均等に見えてしまう、定量的、定性的な見え方の工夫が必要である。</p>
	<p>数値をどう活動に結び付け評価していくか、可視化も含め市としてど</p>

事務局 (地域包括支援課)	<p>う受けとめ検討するかが重要である。今後に期待したい。</p> <p><u>6. 閉会</u></p> <p>第1回姫路市地域ケア推進協議会を閉会する。</p> <p>次回の地域ケア推進協議会は令和6年2月を予定している。引き続き協力をお願いしたい。</p> <p>資料の意図など作成にあたってわかりやすい資料を工夫していきたい</p>
---------------	--